2026 年 7 月～9 月　活動報告

天塩町地域おこし協力隊　前川　康生

1　活動内容

①道みんの日企画展　「松浦武四郎　探究心のはじまり」（7 月 12 日～8 月 1 日）

北海道みんなの日（道みんの日　7 月 17 日）に合わせ、松浦武四郎が生誕してから蝦夷地へ向かう以前までの足跡を紹介する企画展「松浦武四郎　探究心のはじまり」を天塩川歴史資料館で開催した。期間中の入館者数は 318 名となり、3 日間限定で実施したクイズコーナーには延べ 30 名が参加した。

本展示を通じて、北海道の名付け親として知られる松浦武四郎の人物像や探究心に触れる機会を提供し、地域の歴史や文化への関心を高めることができたのではないかと思われる。



②天塩町ビアガーデンプロレス（8 月 1 日）

昨年度より準備を進めてきた「天塩町ビアガーデンプロレス」を役場前駐車場で開催した。実施にあたっては、役場企画商工課、商工会青年部、北都プロレス北海道及び出店事業者など、多くの関係者と連携しながら準備・運営を行った。

当日は観覧席・飲食席ともに多くの来場者で賑わい、会場内での滞在や回遊がみられるなど、地域イベントとして一定の集客効果と交流促進の成果を得ることができた。

一方で、進行管理において時間設定に課題があり、一部空き時間が生じたことから、次年度に向けて改善が必要である。今後も関係機関と連携しながら、継続開催に向けた準備を進めていきたい。



③昆虫標本作製体験講座　（8 月 12 日～13 日）

利尻町立博物館の富永学芸員を講師として招き、2 日間にわたり昆虫標本作製体験講座を実施した。

初日は昆虫標本の基礎知識に関する講義とライトトラップによる夜間採集を行い、2 日目は採集した昆虫を用いて標本作製からラベル作成までの一連の作業を体験した。

参加者は 3 名であったが、標本作製に必要な個別指導や作業スペースを考慮すると適正な受入人数であり、参加者は標本作製の技術と昆虫に関する知識を実践的に学ぶことができた。また、作製した標本の一部は資料館資料として整理し、今後の展示や教育普及活動への活用を予定している。

④考古学教室出前講座「天塩町の遺跡と勾玉づくり」（8 月 22 日）

北海道立埋蔵文化財センターが主催する考古学教室出前講座を天塩町で開催した。

講座では天塩川口遺跡の概要や特徴について解説を行ったほか、同センター所蔵の出土遺物を直接観察する「ほんものハンズオン」体験を実施した。その後、滑石を使った勾玉づくりを行い、参加者全員が作品を完成させた。

実物資料に触れながら地域の歴史や考古学への理解を深める機会となり、文化財への関心を高める教育普及活動として有意義な講座となった。

⑤天塩小学校　出張！天塩川歴史資料館　第 2 弾　「天塩町にやってきた南極の石」

資料館敷地内の公益質屋（質蔵）において、南極で採取された石が保管されていることが判明した。調査の結果、第 11 次南極地域観測隊（1970～1971 年）の越冬隊員によって持ち帰られた資料であることが確認された。

展示では、この石を題材として南極観測の歴史や観測隊の活動内容、採取地点であるラ

ングホブデ長頭山について紹介した。

⑥天塩川口遺跡　紹介動画の作成　（9 月 2 日）

本山地域おこし協力隊と協力し、天塩川口遺跡の紹介動画を撮影した。
https://www.instagram.com/reel/Dc2Xu0FBhK1/?stkn=M3dwNzRiODcyYXU5

⑦宗谷管内巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」

宗谷管内学芸職員連絡協議会主催の巡回展「宗谷と天塩のヒグマ」を、9 月 24 日から 10 月 11 日まで天塩町社会福祉会館で開催した。

昨年度から同協議会との研修や情報交換を進めてきた結果、本年度より正式に巡回展へ参加することとなった。

天塩町からは、明治・大正期のヒグマ加害事例や「第 2 回天塩川みなと祭り」における北海道犬対ヒグマの催しに関する記録を展示した。また、町内ハンターへの聞き取り調査によるヒグマの習性や遭遇回避の工夫、北海道大学天塩研究林、北海道大学ヒグマ研究グループによる研究活動についても紹介した。





２．来館対応

7 月 10 日　マードック大学・北星学園大学
7 月 29 日　愛別町　遺産同好会

３．イベント補助

天塩川しじみまつり（7 月 11 日・12 日）
水泳教室（8 月 4 日～6 日）
はまなす大学　モルック（8 月 21 日）

各事業の運営補助を通じて、地域行事の円滑な実施に協力した。

４．参加した研修など

文化財知的財産権課程（オンライン）
留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク 天売島研修（8 月 6 日～7 日）
北海道博物館大会（9 月 30 日～10 月 1 日）

５．その他

・天塩高校「地域の人の話を聞く会」（7 月 22 日）
・北海道文化財保護協会「まちのイチオシ」執筆

６．総括

7 月から 9 月にかけて、企画展や体験講座、巡回展等の実施を通じて、天塩町の歴史・文化・自然に関する学習機会の充実と情報発信に取り組んだ。また、ビアガーデンプロレスをはじめとする地域イベントでは、多様な団体や事業者との連携を図りながら地域の交流促進と賑わい創出に努めた。

今後は、てしお塾の開催に向けた準備や天塩小学校における出張展示の実施などを通じて、地域住民が歴史や文化に触れる機会の拡充を図りたい。また、資料館活動の充実と地域資源の調査・発信を継続し、天塩町の魅力を町内外へ広く伝える取組を進めていきたい。